

事業成果報告書

宗 紘史

はじめに、私が本事業へ参加した理由は、以前に玉名市の開催する地域活性化に関する研修に参加したことをきっかけに、地域存続やその活性化の重要性について学び男女共同参画について興味を持ったからであった。この事業へ参加することで、子育て世代を支援するサービス提供や女性の就業割合が高い私の職場での就業環境などについて、より深い学びを得られると考えた。研修グループでは「男女共同参画視点での地域づくり、地域活性化」を学ぶことをテーマに掲げ、その学びを得ることができたため報告する。

私の住む・働く玉名市では他の多くの地域と同じく人口減少と高齢化が今後も進むことが予測されている。私の勤める会社の本事業は介護事業であり、すでに働き手不足が深刻となっており、前記の人口減少と共にさらなる人材不足が予測される。介護業界のみならず働き手人材を確保することは、どの地域企業でも共通した課題となるが、その働き手を支えていくサービスが地域で充実することは働き手を活性化させると考えられる。今回はこの働き手(特に子育て世代)への支援を中心に男女共同参画の視点をより深めるヒントを得た。

今回の研修会場となったエセナおおた(1977年～婦人会館として会館、2000年に現在のセンターへとリニューアル)は、NPO法人ジェンダー平等 Labota が運営して21年目を迎え、区民の目線で男女共同、男女平等を啓発している。具体的活動には、コーラス、卓球などのサークル活動やワークショップが開かれ、2023年には約7万人の利用があった。ワーク・ライフ・バランスに関する推進事業、女性の活躍や女性の就労支援に関する推進事業、男女共同参画に関する啓発事業など9つのカテゴリーに分け情報発信を行っており、90名を超えるボランティア登録者にも支えられ、地域住民が主体的に参加・運営を行いながら、各地域への男女共同参画の啓発へと繋がりを広げている。

この会場で行われた研修では、4名の登壇者による講話を拝聴した。中でもNPO法人ジェンダー平等 Labota の坂田静香氏の『行列のできる講座とチラシの作り方』という講話が最も印象に残り、今後の活動に繋がる大きなヒントを得ることができた。坂田氏はエセナおおたで行われているワークショップやイベントの企画・チラシ作成を担当しており、「どうやって多くの人に興味を持ってもらい、どうやって多くの方に参加してもらえるか」について、その考え方を教えていただいた。講話の中で3つの重要なポイントを挙げられ、①参加を難しくするような企画目的をチラシには出さないこと(男女共同参画、ジェンダーなどの言葉を使わないなど)、②対象を絞って企画し、誰に、何を、どのように行うかを明確にすること、③企画タイトルにこだわり、対象に興味を沸かせるチラシを作成す

ることを挙げられていた。その中で最も時間をかけるのは②の「企画そのものはどうするか？」ということであった。

企画の設定について、エセナおおたのワークショップでは多くの工夫が見られ、対象によって開催日時や参加条件が異なっていた。例えば、「親子で参加するような家族向けの企画や働き世代を対象とした企画では、開催日時を土日で設定する」、「女性の起業を支援する企画では、平日の昼過ぎに開催かつオンラインで同時配信を行う」、「子育て世代の女性を対象とした企画では、保育士による子どもの預かりを行う」など、各対象に向けた明確な参加しやすい条件を提示していた。また、企画タイトルには対象に興味を持たせるように、年代別に流行る雑誌の企画名やキャッチコピーを参考にするなどの工夫を行っていることを教えていただき参考となった。

おわりに、今回の研修では、改めて男女共同参画に関する知識と重要性を学び、私自身の主に仕事を通じた今後の活動に活かせるものであった。研修後の成果としては、まずは11月に子育て世代を支援するサービス提供を企画したため、研修成果波及報告書をもってその活動を報告するとともに、今後も地域に住む一人として男女共同参画の視点を持ちながら地域の活性化に努めたい。

研修成果波及報告書

宗 紘史

今回の研修に参加し地域の働き手(特に子育て世代)への支援を中心に男女共同参画の視点をより深めるヒントを得たため、子育てを行うママを対象としたサービスを企画したため、研修成果波及として報告する。

企画は「小さなお子様を育てるママと子どもを対象として、ベビーマッサージ教室による親子での触れ合いと教室後の食事によるママさん同士での交流座談会(下図)」を行うこととした。ベビーマッサージ協会によると、『ベビーマッサージでは、触れられる事による皮膚感覚により得られる心地良さが、赤ちゃんに安心感を与え、自分が愛され、受け入れられている事を感じるといわれている。また青少年の問題の多い昨今、親子の触れ合いやコミュニケーションの不足が起因する場合も多く、赤ちゃんへのマッサージは健全な心と体の発達に効果的と社会的にも認知されてきており。又、赤ちゃんとマッサージをする事は母親にとっても、リラクゼーション効果も高く、産後の鬱や育児ノイローゼの解消、幼児への虐待の防止にも繋がっている。母子は触れ合う事により、母親はより母親としての自覚ができる、子育てを楽しむ事が出来る。』とされている。今回の企画では、母と子にとって心地の良い時間を過ごしていただくとともに、食事交流会を通して、小さな子どもを育てるという同じライフステージに立つ母親同士での世間話や情報交換を行って悩みの共有や楽しみのある時間を持っていただけるようにしたい。また、今回の教室では、玉名で暮らしながら自宅でのベビーマッサージ教室とベビーマッサージセラピストを育てる講師を本業として起業されているケセラセラの野崎様をお呼びした。4児の母として子育てをしながら起業されている野崎様への支援に繋げる目的も含めた。

開催を前に募集5組の枠はすでに予約が埋まっている状況である。参加者には、私の働く職場スタッフ1組、私自身の妻と子どもも参加予定であり、地域も含めて私の身の回りの人々の参加にも繋げることができている。今後も子育て世代を中心に楽しみを持てる企画や地域の困りごとを解消できるような企画を立案、実施していきたい。



今回の企画チラシ

令和6年度男女共同参画社会づくり地域リーダー事後研修

日時 令和6年11月25日 13:30～ 熊本県防災センターにて

◎研修報告発表



◎修了証交付

